

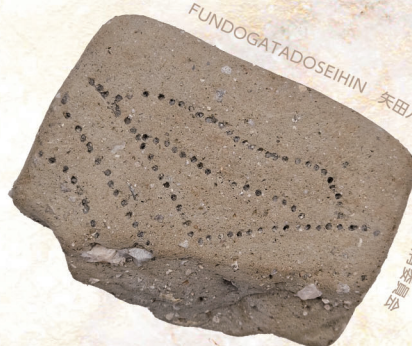
IYO IN THE YAYOI PERIOD

新の造形の 間

— 弥生時代の伊予 —



FUNDOGATADOSEIHIN 西石井遺跡 松山市立埋蔵文化財センター



FUNDOGATADOSEIHIN 矢田八反環遺跡 愛媛県教育委員会



FUNDOGATADOSEIHIN 大峰ヶ台遺跡 松山市立埋蔵文化財センター



FUNDOGATADOSEIHIN 松山遺文 愛媛大学埋蔵文化財調査室



FUNDOGATADOSEIHIN 文京遺跡 松山市立埋蔵文化財センター



直原玉青没後20年
新館蔵品展 巡縁Ⅱ

1階常設展示

直原玉青「禪の牧牛 うしかひ草」

2階常設展示

発見10年 松帆銅鐸

2025.10.1(水)~12.14(日)

開館時間/9:00~17:00(入館受付は16:30まで)
休館日/毎週月曜日※月曜日が祝日の場合は翌日休館
特別入館料/大人500円/大学・高校生300円/中・小学生150円

南あわじ市滝川記念美術館 玉青館
GYOKUSEI MUSEUM

南あわじ市松帆西路1137-1 TEL 0799-36-2314/FAX 0799-36-5408

【協力】愛媛県教育委員会 愛媛大学埋蔵文化財調査室
松山市立埋蔵文化財センター

学ぶ楽しさ日本一





愛媛県(伊予地域)では、弥生時代の祭祀の道具として、銅剣や銅矛といった武器形青銅器や、江戸時代に使われた天秤ばかりのおもりに似た分銅形(ふんどうがた)土製品という板状の土製品が多く出土します。近畿地方を中心として北部九州～東海地方に分布する銅鐸は、淡路島では伝承を含めて26点も発見されていますが、愛媛県では東部に位置する四国中央市の上分銅鐸1点しか見つかりません。分銅形土製品には、くびれのあつた分銅形に顔面を立体的に表現したものや、長方形や円形で顔面表現が無いものがあり、人為的に破壊されたものばかりで、完全な形で見つかることがほとんどありません。瀬戸内海周辺地域に多く分布していますが、淡路島では出土例が無く、愛媛県と淡路島では祭祀に使う道具は異なった様相を示しています。

本展では、愛媛県の中でも東部に位置する弥生集落の祭祀に焦点を当てるとともに、独自性を持つ分銅形土製品や平形銅剣のほか、シカや龍・船が描かれた絵画土器など、祭祀に関連する資料を展示紹介いたします。



①～⑤ 松山市立埋蔵文化財センター所蔵

《10月～12月開催》ワークショップ

各日とも開催時間 ①10:00～②13:00～③15:00～

開催日	内容	金額	定員/回
10月	11日(土) たまねぎマグネット	無料	10人
	12日(日) 鋳造体験	400円～800円	8人
	26日(日) レジン(大人・子供)	300円	10人
11月	8日(土) レジン(大人・子供)	300円	10人
	9日(日) どうたくデコ	300円～500円	10人
	29日(土) たまねぎマグネット	無料	10人
12月	6日(土) 鋳造体験	400円～800円	8人
	7日(日) どうたくデコ	300円～500円	10人



たまねぎマグネット

ミニチュア鋳造体験

どうたくレジン

どうたくデコ

※詳細は玉青館までお問合せください。※別途入館料が必要です。

TEL:0799-36-2314 FAX:0799-36-5408

メール:gyokuseikan@city.minamiawaji.hyogo.jp

申込方法・参加費等については

南あわじ市 どうたくワークショップ

検索



玉青館メール



HP・お申込み

アクセス

●バスをご利用の方

- ・神姫バス三宮バスターミナルより高速バス「三ノ宮・福良線」(約70分)「陸の港西淡」下車、タクシーで約5分
- ・または「陸の港西淡」より市コミュニティバス「らん・らんバス」(約5分)「玉青館前」下車、徒歩で約8分

●お車の方

- ・神戸淡路鳴門自動車道「西淡・三原I.C」より約5分

直原玉青没後20年 新館蔵品展 巡縁Ⅱ

同時開催

期 間

令和7年10月1日(水)～12月14日(日)

南芸芸術に生涯邁進した直原玉青(1906～2005年)は今年で没後20年を迎えます。本展では、昨年以降にご縁があつて寄贈いただいた作品13点を新館蔵品としてお披露目いたします。

俳人山口誓子との合作をはじめ、風景画や木版画などの作品を通して、玉青が見た情景を感じていただける貴重な機会となっています。



▲糸満にて



▶松鯉図



アクセス